

アローのノック(矢筈)が緩いときの対応方法

アローシャフトの径とのノックのインサートがぴったりの場合には良いのですが個体差もあるので緩くなることもままあります。その場合、ピンノックであればピンに、インサートノックであればノックのインサート部分に、DIYや100均で入手できる水道用のシールあるいはペーパーボンド(ノックのプラスチックを溶かさない)を軽く塗布することでも補正できます。

良く、フレッチング(羽根貼り)セメントを軽く塗布すれば十分という方法を説明される方がいますが、それは条件付きです。というのは使われている溶剤がノック材料を溶かすので溶剤が残ったままでシャフトにインサートすると内部で接着してしまい手に負えなくなる可能性があるからです。

もしこの方法をとるのであれば、溶剤が完全に揮発する24時間以上(気温・湿度にもよる)放置してからのほうが安全です。

以上ご参考まで。

尚、写真左側の黄色の部分にはバイター社のノックに付属してくる注意書きです。

注意事項

今まで使えていたのに急に緩くなったという場合には、ノックのひび割れ・クラックが発生している可能性があり危険ですので、点検の上交換する等にご留意下さい。

